

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2017.7.25 No. 298 連絡先 042-555-1911



熱い暑い夏 第100回 横田基地撤去の座り込み 約500人参加

2009年4月19日から始まった毎月第3日曜日の横田基地の撤去を求める座り込みは、2017年7月16日に第100回になりました。かんかん照りではありませんでしたが本当に熱い中(33度)、第100回ということで、500人の方々が参加、福生市フレンドシップパーク(児童公園)は熱気に包まれました。



米軍再編、新ガイドライン等で横田基地の機能強化が驚くほど進んでいますが、負けないぞ！

2017国民平和第行進 3日間西多摩を行進 22日福生公園で終結集会

西多摩地域は広い。4市(青梅、羽村、福生、あきる野)、3町(奥多摩、日の出、瑞穂)、1村(檜原)の8自治体をすべて行進です。20日は檜原村甲武トンネルと奥多摩町役場をスタートし、21日は青梅市とあきる野市、日の出町を行進し、22日は羽村市、福生市を行進し、瑞穂町役場からのコースも加わり、福生公園で集結集会でした。核兵器禁止条約制定された2017国民平和大行進は、青年の参加も多く活気に満ちていました。(写真：奥富喜一氏提供)



横田基地 大型輸送機C-5Aギャラクシー ブレーキシステムの不具合

7月20日(木)、横田基地で離陸しようとしていたC-5大型輸送機(AMC 85-0010)にブレーキシステムの不具合が認められ、離陸は延期されました。不具合に伴い約50ガロン(約190ℓ)のブレーキ液漏れが発生しました。

当該機は整備・点検を行うため所定の駐機場に牽引されましたが、その間、滑走路が使えませんでした。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は21日(金)、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官、北関東防衛局長、横田防衛事務所所長に口頭要請しました。



〈要請事項〉1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。※国に対しては、このような状況を十分認識され米軍に申し入れを行うよう要請。6月17日、C-5Mは大きなパネルを遺失したことが判明(既報)。

AMCがC-5大型輸送機全56機に点検記録チェックを要求した (No. 298 裏)

7月19日、AMC(航空機動軍団)のスポークスマンによれば、デラウェア州ドーバー空軍基地にて、エバーハート大將は、全56機のC-5に点検記録チェックを要求したと、エアーフォースタイムスが報じています。過去60日以内に2機が前部着陸装置に故障を起こした後、大量のC-5が飛行中止にされました。C-5の2機の不調はスペインの海軍基地で起こりました。12機の主要機と6機の補助機は検査するためドーバーに到着したばかりだそうで、「悪い方向に行く前に問題をつかまえる予防的処置としてC-5全機を検査したい」と、AMCの公共問題監督の大佐は言ったそうです。横田基地にたびたび飛来するC-5に大きな問題があるようです。1ページに記載した横田基地でのブレーキシステムの不具合は、この記事の後です。C-5の飛行中止を！

7月12日 横田基地所属のC-130H輸送機も部品を紛失していた

7月11日(火)は、C-130輸送機が激しく飛行訓練していました。12日に飛行機の点検を行ったところ1機のC-130Hの部品(約5cm×12.7cm、重さ1ポンド=453.592g)の部品が紛失しているのが分かりました。重さについては、21日に「遺失した部品の重さ：0.5ポンド以下」と追加情報がありました。人命や環境に関わる重大な事故につながりかねません。危険です。

16人死亡の空中給油機墜落事故 機種はKC-130Tだった

前号で、墜落し16人が死亡したのは、空中給油機KC-130Jとお知らせしましたが、これは当初に報道したCNNの誤報だったようで、実際はKC-130Tだったようです。KC-130TはC-130Hの改良型のようなのです。C-130は安全性の高い航空機だと言われてきましたが、重大な墜落事故を起こしました。なぜ墜落したか徹底究明を！横田基地のC-130H輸送機は飛行停止を！(写真は、7月13日、横田基地に飛来したニュージャージー州マクガイア・デックス・レイクハースト統合基地の輸送機C-130T。yokota_johoのブログより)



前号で、墜落し16人が死亡したのは、空中給油機KC-130Jとお知らせしましたが、これは当初に報道したCNNの誤報だったようで、実際はKC-130Tだったようです。KC-130TはC-130Hの改良型のようなのです。C-130は安全性の高い航空機だと言われてきましたが、重大な墜落事故を起こしました。なぜ墜落したか徹底究明を！横田基地のC-130H輸送機は飛行停止を！(写真は、7月13日、横田基地に飛来したニュージャージー州マクガイア・デックス・レイクハースト統合基地の輸送機C-130T。yokota_johoのブログより)

整備中のMV-22オスプレイに落雷 米東部 1人重傷 クラスAに分類

米東部ノースカロライナ州のニューリバー海兵隊航空基地で11日、同基地で機体の整備中だったMV-22オスプレイに落雷、整備士1人が重傷、2人が軽傷を負っていたことが13日までに分かった、事故はクラスAに分類されたと沖縄タイムス(電子版7月15日)は報じています。

ミシシッピ州の墜落事故、落雷による事故で、海兵隊のクラスAの事故率は高くなります。

ルーマニア 夜間のパラシュート降下で 米陸軍兵12人が負傷した

7月23日、ルーマニア・ブカレスト 米落下傘隊の12人が、ルーマニアにおける夜間パラシュート降下中、負傷し入院していると、公式発表されました。NATOセイバーガーディアン演習で、事故はルーマニア北西部にあるキャンプツージル空軍基地で土曜日の早朝に発生。演習ではC-130Hから500人の隊員が降下したそうです。負傷した兵士11人は土曜日に退院、1人は背骨が負傷して2日以上入院しているそうです。このNATOセイバーガーディアンという米陸軍ヨーロッパ導入演習は、米・ブルガリア・ハンガリー及びルーマニア間の調整を増やす目的のようです。米軍は、このような国々にも運用範囲を広げようとしているのですね。

負傷兵が出たパラシュート降下訓練、パラシュートが開かず死亡した事故も。危険な訓練です。